

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的を述べたものである。
□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「この法律は、電波の公平かつ □ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」

1. 積極的
2. 経済的
3. 能率的
4. 能動的

〔2〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。
電波法の規定に照らし、□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の □ 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 周波数の偏差及び安定度
2. 周波数の偏差、空中線電力の偏差
3. 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差
4. 周波数の偏差及び幅、高調波の強度

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、
1,606.5kHzから4,000kHzまでの周波数の電波を使用する船舶局の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

1. 5ワット
2. 10ワット
3. 30ワット
4. 50ワット

〔4〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 免許証を失ったとき。
2. 日本の国籍を失ったとき。
3. 電波法に違反したとき。
4. 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔5〕 免許人は、その船舶局が安全通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 船舶の責任者に通報する。
2. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
3. 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
4. その通信の記録を作成し、2年間保存する。

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 航海船橋の適当な箇所
2. 受信装置のある場所の見やすい箇所
3. 船内の適当な箇所
4. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
2. 無線通信を行う場合においては、暗語を使用してはならない。
3. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
4. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。

〔8〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

1. OK
2. 了解
3. どうぞ
4. 送信してください

〔9〕 無線局が相手局を呼び出そうとするときは、遭難通信等を行う場合を除き、電波を発射する前に聴守しなければならない電波の周波数はどれか。次のうちから選べ。

1. 自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める周波数
2. 他の既に行われている通信に使用されている周波数であつて、最も感度の良いもの
3. 自局の付近にある無線局において使用する電波の周波数
4. 自局に指定されているすべての周波数

〔10〕 無線電話による遭難通信の通報の送信速度は、どのようなものでなければならないか。次のうちから選べ。

1. できるだけ速い速度
2. 緊急の度合いに応じた速度
3. 受信者が筆記できる程度の速度
4. 送信者の技量に応じたできるだけ速い速度

〔11〕 船舶局が無線電話による緊急信号を受信したときは、遭難通信を行う場合を除き、少なくとも何分間継続してその緊急通信を受信しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 2分間
2. 3分間
3. 5分間
4. 10分間

〔12〕 無線電話通信による自局に対する呼出しを受信した場合において、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに何を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 誰かこちらを呼びましたか
2. 各局
3. 反復
4. 貴局名は何ですか